日本共産党船橋市議団とともに
岩井　友子市議　金沢　和子市議
坂井　洋介市議　佐藤　重雄市議
関根　和子市議　中沢　学市議
松﨑　佐智市議　渡辺　優子市議
市議団控室☎047-436-3030

日本共産党県議会議員
丸山慎一 がんばり通信

No.391　2018年1月14日（月2回発行）　marusin@mbn.nifty.com

発行　日本共産党西部地区委員会
〒274-0805船橋市二和東6-41-20
☎047-440-5240　FAX449-7004

右のQRコードでブログを見ることができます。HPは検索。
丸山慎一　検索

自衛隊降下訓練始めへの米軍参加

日本共産党などが抗議と中止をもとめて宣伝

1月12日実施の陸上自衛隊パラシュート降下部隊（第一空挺団）の「降下訓練始め」に、今年も米軍が参加。しかし、その内容は、昨年とまったく異なっており、なし崩し的な拡大が懸念されています。日本共産党は1月6日、他の団体などとともに抗議と中止を求める宣伝を行いました。

昨年とまったく違う米軍参加の内容

陸上自衛隊習志野演習場で毎年1月、パラシュート部隊の「降下訓練始め」が行われていますが、昨年から米軍が参加しています。日本共産党は今回も米軍が参加することが明らかになった昨年12月、防衛省を訪れて抗議と中止を強く求めました（**前号既報**）。

そのなかで、参加人数や滞在日数だけでなく、昨年は米軍からの参加要望だったのに、今回は自衛隊が招待したこと、昨年は米兵が基地の外へ出ることがなかったのに、今年は可能性があることなどがわかりました。しかも自治体への連絡も今回は決定後で大きく異なります（**下表参照**）。

宣伝には様々な団体地域から60人

なし崩し的な拡大を許さず、米軍の参加そのものへの抗議と中止を求めて1月6日、宣伝が行われました。

日本共産党のほか、「パトリオットミサイルはいらない習志野基地行動実行委員会」「安保関連法に反対するママの会@ちば」「戦争はいやだ！オール習志野行動」「市民ネットワークふなばし」なども合流し、参加者は約60人となりました。

次々とマイクを握って、「世界最強の正規軍の参加は憲法9条に反する暴挙であり、けっして許されない」「増え続ける軍事費の一方で教育費が削られ、子どもたちが後回しにされている」「憲法9条を守り生かし、戦争の足音を食い止めよう」などと、それぞれの立場で訴えました。

チラシも配布しながら、「憲法9条を守れ」「米軍の参加反対」などのプラカードを持って行き交う人にアピール。宣伝の最後には、「誰の子どもも殺させない」などのコールで、参加者全員が抗議の声を上げました。

米軍参加の抗議と中止を訴える（左から）椎葉寿幸党県委員長、丸山慎一県議、斉藤和子前衆議院議員。＝1月6日・津田沼駅北口

宣伝の最後に参加者がそろってコールを行い、抗議と中止を求める意思を表明しました。＝1月6日・津田沼駅北口

〔今年の降下訓練始めへの米軍参加を昨年と比較〕

	昨年	今年
実施日	２０１７年１月８日（日）	２０１８年１月１２日（金）
米軍滞在期間	５日～９日（５日間）	７日～１６日（１０日間）
米軍の人員	１５人	８０人
働きかけ	米軍からの要請	自衛隊からの招待
降下編成	米軍のみの編成	日米混合もありうる
米兵の外出	無し	ありうる
自治体への連絡	決定前に打診	決定後に通知

三番瀬を守る会が初日を見る会を開催

三番瀬を守る会が毎年元旦に開催している「三番瀬で初日を見る会」が今年も開かれました。朝7時前に日が昇ると「おーっ」という歓声が上がりました。渡り鳥が飛び交い餌をついばむ豊かな自然は、子や孫の世代にそのままの形で残すべきです。

丸山慎一県議 活動日誌

12・18▼商工労働企業常任委員会で質疑
12・19▼道路の調査
12・20▼県議団会議
12・21▼革新懇のキャンドルウォークに参加
12・22▼県議会で昨年度決算の討論／再生土埋立禁止で県知事要請
12・23▼中沢学市議や共産党二宮飯山満支部と交差点の調査

金沢和子市議と御滝後援会の懇談会に参加／市場後援会忘年会参加
12・24▼共産党峰台支部会議に参加
12・25～26▼議会運営委員会の視察（大阪府議会・和歌山県議会）
12・27▼国保をよくする会の国民健康保険料引き下げ署名提出同席
12・28▼県議団会議
1・1▼三番瀬で初日を見る会に参加
1・3▼安倍政治は許さない船橋駅スタンディングに参加／金沢市議と新春市内宣伝
1・4▼共産党船橋市議団と市役所前宣伝
1・5▼千葉県商工団体連合会であいさつ

1・6▼船橋市出初式参加／自衛隊降下訓練始め米軍参加抗議宣伝
1・7▼共産党海神支部会議に参加／平和委員会の新春講演会参加